

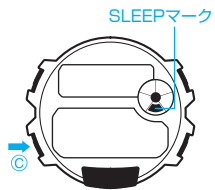
パワーセービング機能について

本機をしばらく使用しないときは、消費電流の小さい「パワーセービングモード」にして、なるべく明るいところに保管してください。

●パワーセービングモードにするには

本機が通常状態（点滅なし）のときに **◎** ボタンを約2秒間押し続けます。

※パワーセービングモードではSLEEPマークのみ点灯します。また、アラーム・時報、タイマーの電子音報音、ELバックライトの点灯は行ないません。



●パワーセービングモードを解除するには

Ⓐ ボタン以外のいずれかのボタンを押します。

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。（この間、モード切り替え等の操作はできません）



●デモ表示の解除

Ⓐ ボタンを約2秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

●デモ表示の設定

(1) **◎** ボタンを約2秒間押し続けて「パワーセービングモード」にします。

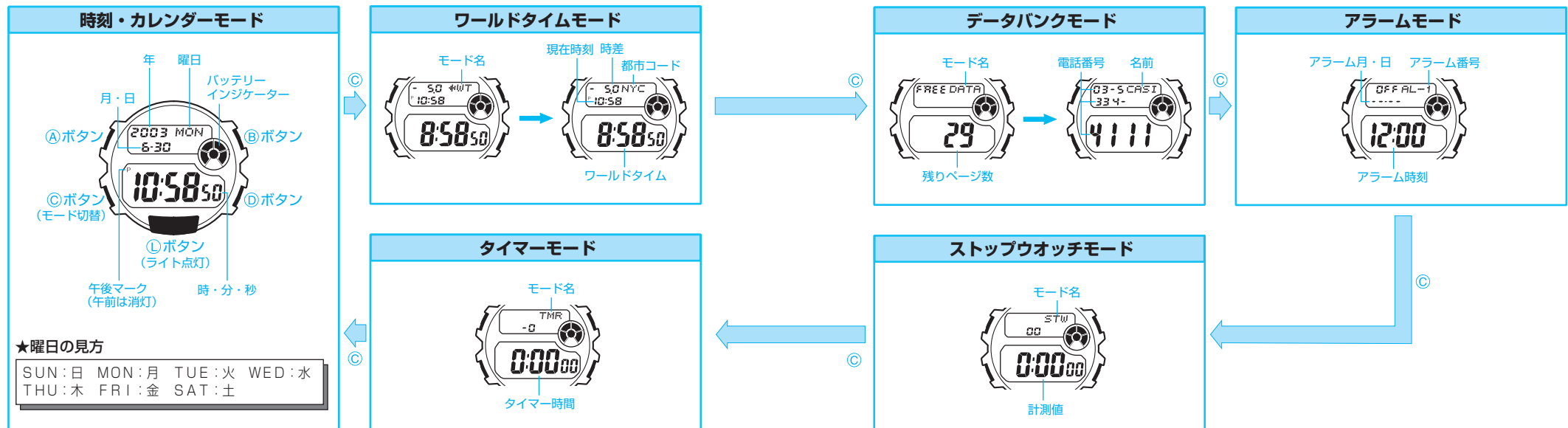
※パワーセービングモードについては左記「パワーセービング機能について」をご覧ください。

(2) 続けて **Ⓐ** ボタンを約2秒間押し続けるとデモ表示になります。

※二次電池の容量が少ないときや電池に大きな負担があったときは、デモ表示にはなりません。

※デモ表示のとき、本機を暗いところに置くと液晶表示が消えます。光を当てると再び表示が点灯します。

操作のしくみと表示の見方 **◎** ボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。



電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると(レベル5)、メモリーされているデータや設定は消去されます。

● バッテリーインジケーターが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、バッテリーインジケーターが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- ELバックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音 (アラーム・時報がONのときは、アラームマークおよび時報マークの上に「×」が点灯します)



この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。

● バッテリーインジケーターの見方

レベル1		すべての機能が使用可能
レベル2		すべての機能が使用可能
レベル3		すべての機能が使用可能
レベル4		アラーム・時報の報音不可、EL点灯不可、液晶表示不可
レベル5		時計発振不可 (時計機能停止)

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※レベル4では、アラーム・時報がONでも報音しません。このとき、アラームマークおよび時報マークの上に「×」が点灯します。

※レベル4で液晶表示が消えているときにいずれかのボタンを押すと、2～3分間時刻・カレンダーを表示します。

※レベル4およびレベル5ではデモ表示を行いません。

※レベル5になっても、充電を開始すると再び使えるようになりますが、表示回復後に時刻・カレンダーを合わせてください。

● 充電時のご注意

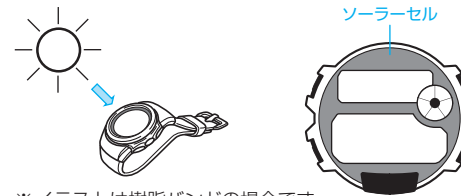
以下のような高温下での充電はお避けください。
● 炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
● 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
● 直射日光が長く当たって、高温になる所
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなるがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようご注意ください。

● 充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。

例) 時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

● 充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても下記の条件で使用した場合に約6ヶ月動き続けます。
※フル充電からレベル4になるまで。

- 1日あたりの使用量
- ELバックライト: 2秒間
 - アラーム報音: 20秒間

なお、こまめに充電を行えば、安定してご使用いただけます。

〈1日あたりの回復充電時間〉

環境 (照度)	充電時間
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約5分
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約25分
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約50分
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約8時間

● 各レベルに回復するための充電時間

環境 (照度)	充電時間			
	レベル5 →	レベル4 →	レベル3 →	レベル2 → レベル1
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約21時間	約3時間	約18時間	約3時間
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約108時間	約14時間	約94時間	約13時間
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	---	約28時間	約188時間	約25時間

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル (エレクトロルミネッセンスパネル) が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると暗いときに文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる

～手動発光～

どのモードのときでも、

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。



※ オートライトOFFのときも① ボタンを押すと発光します。

※ 「デモ表示」または「パワーセービングモード」のときは① ボタンを押してもライト点灯を行いません。

■ 時計を傾けて発光させる

～オートライト機能～

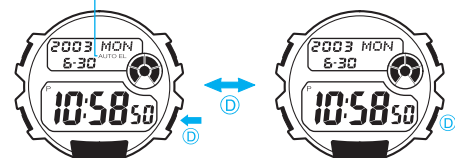
オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけで文字板が発光する便利なフルオートライト機能です。

※明るいときは、自動発光しません。

暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約2秒間発光します。

準備: 時刻・カレンダーモードのとき ② ボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON (AUTO EL点灯) にします。

オートライトONマーク



<オートライト作動します>

※ オートライトONのとき、② ボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF (AUTO EL消灯) に戻ります。

※ オートライトON / OFF設定は、時刻・カレンダーモードのときのみ行なえます。

<オートライト作動しません>

● 文字板を発光させる



※ オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。

※ 文字板の左右 (3時～9時方向) の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。

● <EL発光についてのご注意>

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中に① ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

● <オートライトご使用時の注意>

- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしていても、発光は約2秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。
- ※ 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。
- 本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ (金属球) が内部で動くための音で、故障ではありません。

ワールドタイムの使い方

◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン(27都市)の時刻および世界標準時(GMT)の時刻を簡単に知ることができます。

- ※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
- ※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
- ※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、①または②ボタンを押します

- ①または②ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。
- ※ ①・②ボタンとも、押し続けると早送りします。



ワールドタイムの合わせ方

ワールドタイムの時刻は、表示される都市のうち、ある1つの時刻を合わせると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

(1) 都市コードを選ぶ

ワールドタイムモードのとき、①または②ボタンを押します

- ①または②ボタンを押して、セットしたい都市コードを選びます。

例) 都市コード「TYO」(東京)をセットする



(2) セット状態にする

③ボタンを約2秒間押します

- ONまたはOFFが点滅します。
- ※ このとき、④ボタンを押すごとにサマータイム(DST)のON/OFFを設定することができます。(「サマータイム(DST)のON/OFF設定」参照)



(3) 「時」のセット

◎ ボタンを押します

- 「時」が点滅します。

④または⑤ボタンを押します

- ④ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑤ボタンを押すごとに戻ります。
- ※ ④・⑤ボタンとも、押し続けると早送りします。



(4) 「分」のセット

◎ ボタンを押します

- 「分」が点滅します。

④または⑤ボタンを押します

- 「時」のセットと同様に④または⑤ボタンでセットします。



(5) セットを終わる

③ボタンを押します

- 点滅が止まり、セット完了です。
- ※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

サマータイム(DST)のON/OFF設定

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

- (1) ワールドタイムモードのとき、④または⑤ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

(2) ③ボタンを約2秒間押します

- ONまたはOFFが点滅します。

(3) ④ボタンを押します

- ONまたはOFFが切り替わります。
- ※ OFF = 通常時間
- ON = サマータイム設定
- ※ サマータイムをONにするとDSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。
- ※ サマータイムは各都市ごとに設定することができます。ただし、「GMT」表示のときは、サマータイム設定はできません。



(4) ③ボタンを押します

- 点滅が止まり、セット完了です。
- ※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---		-11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、バイルート
HNL	ホノルル	-10	パペーテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレッジ	-9	ノーム	JED	ジェッダ	+3	クウェート、モスクワ
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+3.5	
DEN	デンバー	-7	エルバソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+4	アブダビ
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、メキシコシティ	KBL	カブール	+4.5	
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、マイアミ、ボストン	KHI	カラチ	+5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ	DEL	デリー	+5.5	
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノスアイレス	DAC	ダッカ	+6	
---		-2		RGN	ヤンゴン	+6.5	
---		-1	アゾレス諸島	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
GMT		±0	<グリニッジ標準時>	HKG	ホンコン(香港)	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
LON	ロンドン	±0	ダブリン	TYO	東京	+9	ソウル、平壤
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	ADL	アデレード	+9.5	
				SYD	シドニー	+10	グアム
				NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2002年12月現在作成のものです。
 ※この表の時差はグリニッジ標準時(協定世界時:UTC)を基準としたものです。

データバンク機能の使い方

◎ ボタンを押して、データバンクモードにします。

データバンクモードでは、1件につき名前8文字、電話番号14桁を最大30件メモリーできます。

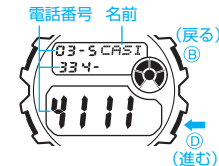
- ※データバンクモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。
- ※データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート*)が行われます。
- *自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順はアルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(-、/、:)です。

データのサーチ

データバンクモードのとき、①または②ボタンを押します

- ①ボタンを押すごとに名前順に進み、②ボタンを押すごとに逆方向に進みます。

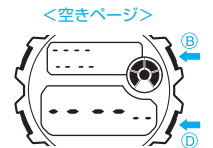
- ※押し続けると早送りします。
- ※名前が5文字以上ときは、右から左に流れて表示されます。



データを入力する

(1) 空きページを選ぶ

データバンクモードのとき、④ボタンと⑤ボタンを同時に押して、空きページを表示させます

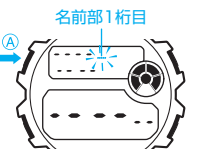


- ※データが1件もメモリーされていないときは「NO-DATA」と表示されます。
- ※データがすでに30件メモリーされているときは「FULL」と表示されます。このときは、不要なデータを消去しておいてください。(「データを消去する」参照)

(2) セット状態にする

③ボタンを約2秒間押します

- 名前部1桁目が点滅します。

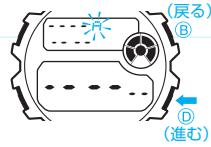


(3) 点滅箇所のセット

① または ② ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りします。



(4) セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目～8桁目 ⇒ 電話番号1桁目～14桁目 ⇒ 名前部1桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

※ 名前部の入力がすべて終わりましたら、③ ボタンを押して点滅箇所を電話番号部に移動させます。



(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力していきます

※ 名前は最大8文字、電話番号は最大14桁まで入力できます。

※ 入力できる文字は、名前部セットのときは（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（-./:）で、番号部セットのときは-、0～9、（空白）です。

(5) セットを終わる

④ ボタンを押します

⇒ “SORT”表示後、セット表示となり、続けて他のデータを入力することができます。もう一度④ ボタンを押すと、点滅が止まります。

※ 30件目を入力したときは、“FULL”表示になります。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ データを修正する

(1) ① または ② ボタンを押して修正したいページを選びます

(2) ④ ボタンを約2秒間押します

⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

(3) 修正したい部分まで③ ボタンを押して点滅を送り、① または ② ボタンを押して文字（数字）を修正します

(4) 修正が終わりましたら、④ ボタンを押します

■ データを消去する

(1) ① または ② ボタンを押して消去したいページを選びます

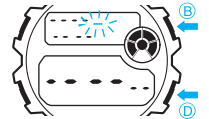
(2) ④ ボタンを約2秒間押します

⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

(3) ① ボタンと② ボタンを同時に押します

⇒ データが1件消去されます。

※ このとき引き続き他のデータを入力することができます。



(4) 消去が終わりましたら、④ ボタンを押します

アラーム・時報の使い方

③ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、月・日・時・分を設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。

また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

以下の場合には、アラーム・時報がONでも報音しなくなります。（このとき、アラームマークおよび時報マークの上に“X”が点灯します）

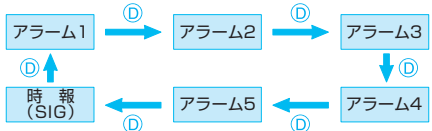
- 二次電池の容量がレベル4以下になったとき
- 電池に大きな負担がかかり、一時的に電池電圧が戻らないとき

■ アラーム時刻のセット

(1) アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、① ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。



(2) セット状態にする

④ ボタンを約2秒間押します

⇒ 「時」が点滅します。

※ このとき、アラームが自動的にONになり、“AL-1”が点灯します。



(3) セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時→分→月→日→時…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(4) 点滅箇所のセット

① または ② ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りします。



(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます

※ 「時」のセットのとき午前/午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

※ 「月・日」をセットしないときは“—”を表示させます。

※ 「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らすとき	「時・分」のみセット
指定月の毎日鳴らすとき	「月・時・分」をセット
毎月同じ日に鳴らすとき	「日・時・分」をセット
指定月日に鳴らすとき	「月・日・時・分」すべてセット

(5) セットを終わる

④ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

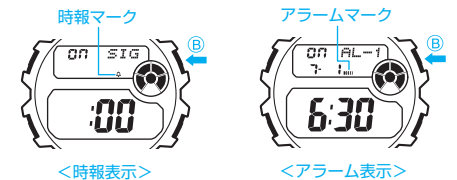
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON/OFF設定

準備：アラームモードのとき、① ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報（SIG）表示を選びます。

② ボタンを押します

⇒ ② ボタンを押すごとに、マークが点灯/消灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



■ 鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、① ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ストップウォッチの使い方

◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。また、スタートの5秒前からカウントダウンを開始するオートスタート機能もあります。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



- ★計測中に◎ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(“SPL”表示)
- ※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- ★計測終了後◎ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります。(リセット)

● 通常計測



<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに◎ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測



● 1・2着同時計測



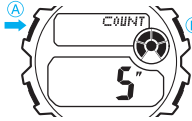
■ オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート(計測開始)の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音が報知するものです。

● オートスタート表示するには

計測リセット状態のとき、◎ ボタンを押します

<オートスタート表示>



⇒ ◎ ボタンを押すごとに通常表示とオートスタート表示とが切り替わります。

● オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき、◎ ボタンを押します

⇒ 5秒前からのカウントダウンを始めます。3秒前からは1秒ごとに電子音が鳴ります。

※カウントダウンを中止し即スタートするときは、◎ ボタンを押します。

※計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同様になります。

タイマーの使い方

◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1秒単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過(タイムアップ)すると10秒間の電子音が鳴ります。また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせて好きな方を選ぶことができます。(タイマー方法の選び方については、「★タイマー方法の選び方」参照)

● リピートタイマー (繰り返し計測)

タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

● オートリピートタイマー (自動繰り返し計測)

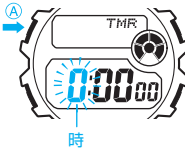
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。

※オートリピートタイマーを選ぶと“”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

(1) セット状態にする

タイマーモードのとき、◎ ボタンを約2秒間押します



⇒ 「時」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

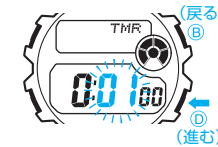
◎ ボタンを押します



⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時→分→秒→タイマー切替→時…」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

(3) 点滅箇所のセット

◎ または◎ ボタンを押します



⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

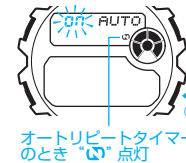
(2)~(3)の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします

※タイマー時間を24時間に設定するときは表示を“0:00 00”にします。

★タイマー方法の選び方

「タイマー切替」のとき、

◎ ボタンを押します



⇒ ◎ ボタンを押すごとに、リピートタイマーとオートリピートタイマー(“”点灯)が切り替わります。

(4) セットを終わる

◎ ボタンを押します

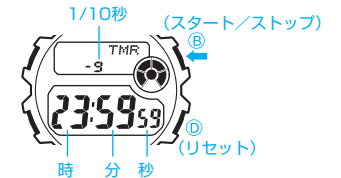
⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。計測は1/10秒単位で行ないます。



★計測ストップ後◎ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは、◎ ボタンでストップ後、もう一度◎ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒*間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

* オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻・カレンダーモードで行ないます。

二次電池が完全に空になった後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

(1) セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、**Ⓐ** ボタンを約2秒間押します



⇒「秒」が点滅します。

(2) 時報に合わせて **Ⓓ** ボタンを押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



(3) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1) セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、**Ⓐ** ボタンを約2秒間押します

⇒「秒」が点滅します。



(2) サマータイム (DST) のON/OFFを選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

⇒ONまたはOFFが点滅します。

※ OFF = 通常時間
ON = サマータイム設定

Ⓓ ボタンを押します

⇒ONまたはOFFが切り替わります。

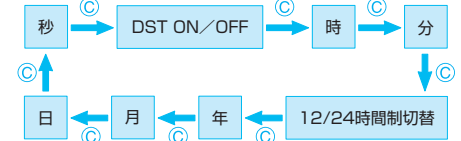
※ サマータイムをONにするとDSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。



(3) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ** ボタンを押します

⇒ **Ⓒ** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。合わせたい箇所を点滅させます。



b. **Ⓓ** または **Ⓔ** ボタンを押します

⇒ **Ⓓ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**Ⓔ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **Ⓓ**・**Ⓔ** ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます

※「12/24時間制切替」のときは、**Ⓓ** ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

(4) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。